



東大阪市公衆衛生協力会 会報

事務局 〒578-0941 東大阪市岩田町四丁目3番22-500号(希来里5階)

TEL 072-960-3804 Fax 072-960-3807 Email: koushueisei@koushueisei.com



明けましておめでとうございます



公衆衛生協力会会員、医師会、歯科医師会、薬剤師会、獣医師会、柔道整復師会、助産師会、鍼灸師会、鍼灸マッサージ師会、食品衛生協会、理容生活衛生同業組合、食肉連合会、飲食業生活衛生同業組合、クリーニング生活衛生同業組合など各団体の皆様におかれましては、健やかに新年をお迎えになられたこととお慶び申し上げます。

年頭のごあいさつに先立ち、昨年も新型コロナウイルス感染症に各業種皆様方におかれましては、診療や経営に多大な影響がおりかと存じます。心からの感謝とお見舞いを申し上げます。

さて、昨年は、当会の健康フェスタが「HANAZONO EXPO」に協賛して開催されました。健康フェスタへは7500人の方がおこしになり、たいへん盛況でございました。お世話いただきました皆様に御礼申し上げますとともに、ブースを開設いただき二日間に渡り大変ご苦労されました皆様に深く御礼申し上げます。本年も同様の形態で開催されると聞いております。昨年にも増して盛況であり市民の公衆衛生向上に貢献できますよう期待しております。どうぞご協力の程お願い致します。

また、例年行っておりました食中毒防止キャンペーン、薬物乱用防止キャンペーンは、コロナ禍のため中断しておりましたが、昨年は会員皆様方のご努力で無事実施することが出来ました。お忙しい中ご協力ご参加いただきありがとうございました。本年も実施予定でございます。どうぞよろしくお願い致します。

コロナ禍でたいへん厳しい時代ではございますが、こんな時こそ、組合組織が一層結束し、更なる公衆衛生の向上に成果を上げる年になるやもしれませんし、当会としまでも努力してまいりたいと考えております。色々ご提案、ご意見などございましたらお聞かせ頂ければと考えております。どうぞよろしくお願い致します。

改めて、公衆衛生協力会にご賛同いただいております皆様方には、昨年同様、「東大阪市における公衆衛生の向上及び健康で明るい生活環境の推進」に向けてご尽力賜りますよう衷心より願いますとともに、会員皆様方のご健康、東大阪市民にとって明るい展望が開ける年となりますことを祈念し、新年のごあいさつとさせていただきます。

会長 平松 久典

3年ぶりに健康フェスタを開催しました♡

昨年11月5日(土)、6日(日)の二日間 HANAZONO EXPO 内で健康フェスタ2022を開催しました。新型コロナウイルスの関係で2年間中止していましたが、場所も新たに3年ぶりに開催することができました。この2日間は晴天に恵まれ11月にしては暖かい日差しの下、健康フェスタには2日間で総勢7,500人の市民の皆様にご来場いただき、また協会の会員及び保健所の職員合わせて170人の方々にご協力いただき、ありがとうございました。

初日の5日(土)は保健所長のあいさつで始まり、「脳の健康を保とう!」「あなたのそばに助産師がいます」「薬物乱用は「ダメ。ゼッタイ。」」「食事バランスチェック・食品つりゲーム」など9つのブースを開設しました。

続いて翌6日(日)には、本協会会長及び健康部長のあいさつに始まり、「糖尿病療養相談(食事療法中心)」「歯と口の健康相談」「おくすり相談」「柔道整復師(整・接骨院)による歩き方測定コーナー」「鍼灸、小児はり、認知症予防のはり」「マイクロチップってなあに?」など10のブースを開設しました。両日も相談コーナーなど各団体の特色を生かして来場者に相談や体験を提供するなど興味を持っていただけるよう工夫し好評を博しました。

また、健康フェスタでは、各ブースでトライくんスタンプを押印するスタンプラリーを行い、来場者の皆様楽しんでいただきました。本部では、豪華景品を用意し、スタンプラリーに参加していただいた来場者にガラポン抽選会を行い各々思い通りの景品?を持ち帰っていただきました。



薬物乱用防止・食中毒予防

街頭キャンペーン

昨年十一月二十八日近鉄河内小阪駅

周辺で実施しました!

近年、青少年を含む一般市民にまで薬物の乱用が急増しています。薬物の乱用による弊害は乱用者自身の健康を損なうだけでなく、家庭を崩壊し、また、各種犯罪の要因となるなど大きな社会問題となっています。これら薬物の乱用を防止するため、街頭キャンペーンを通じて薬物についての正しい知識の普及啓発を行います。また、冬期における食中毒等の食品による事故防止を図り、市民の健康保持と公衆衛生の向上および市民への食品衛生に関する知識の普及・啓発を行います。

キャンペーン開始に先立ち、平松協会会長の挨拶、続いて、大阪食品衛生協会東大阪市西・中・東支部を代表して、栗飯原西支部会長の挨拶があり、来賓の方々を代表して、野田市長よりご挨拶をいただきました。

このキャンペーンは、東大阪市の後援を得て、東大阪市長をはじめ、東大阪市公衆衛生協力会の会員及び大阪食品衛生協会東大阪市三支部の会員等、総勢70名により、午後2時半より啓発リーフレット及び啓発物品を配布して薬物乱用防止・食中毒予防を訴えました。

さらに、近鉄河内小阪駅周辺に薬物乱用防止・食中毒予防啓発のぼりを立て啓発しました。



ご注意ください

ノロウイルスによる感染症と食中毒

ノロウイルスによる感染性胃腸炎や食中毒は冬場に多く発生します。

ノロウイルスは感染力が強く、汚染された食品からの感染や患者の便、嘔吐物からの二次感染で広がることがあります。感染すると1日～2日の潜伏期間を経て、嘔吐や下痢、腹痛などの急性胃腸炎の症状がみられ、微熱を伴うこともあります。通常2～3日で治ります。症状が治まってからも、しばらくはウイルスの排泄が続きますので注意が必要です。

感染症や食中毒にならないために次のことに注意し、予防してください。

- 帰宅後やトイレの後、調理の前後、食事前は必ず石けんで手を洗う
○嘔吐や下痢など体調が悪いときは、できるだけ食品に直接触れない
○嘔吐物の処理やトイレの清掃などには、使い捨て手袋とマスクを着用し、塩素系漂白剤でウイルスの活性を失わせる
○カキなどの二枚貝を調理したときは、使用した調理器具を洗剤でよく洗浄した後、熱湯または漂白剤を使用する
○生食用カキでもできるだけ加熱調理する

年末年始の食品事故

年末年始は食品を長期間保存することが増えるため、食中毒などの食品事故が発生しやすくなります。

食品事故を防ぐため、次のことに注意してください。

- 【購入時】
○生鮮食品などは計画的に購入する
○消費期限や賞味期限などの表示をよく確認する
【保存時】
○食品に適した温度や場所で保存する
○冷蔵庫に食品を詰めすぎない(全体の7割程度が目安)
【調理時】
○調理の前後や生ものを扱った後は必ず石けんで手を洗う
○加熱が必要な食品は中心部までよく加熱する
○卵やカキ、肉類の生食は避ける

クラウドファンディング

野良猫の不妊手術を助成するクラウドファンディング第二弾プロジェクトでは、令和4年12月3日(土)に寄付の受付を終了し、58名の皆様から、目標額を上回る合計113万2千円のご寄附を頂きました。

ご支援誠にありがとうございました。



東大阪市保健所 食品衛生課

東大阪市産品を使用する飲食店・小売店のみなさまへ

あなたのお店をPRします



主催 東大阪市農業振興啓発協議会
JAグリーン大阪・JA大阪中河内・大阪府農業共済組合・大阪府・東大阪市・東大阪農業委員会

申込み・問合せ先(事務局)
東大阪市都市魅力産業スポーツ部農政課内
電話:06-4309-3180

第4次東大阪市食育推進計画を策定しました

東大阪市では、現在の「食」を取りまく状況と第3次計画の評価・検証を踏まえ、引き続き、本市の食育を総合的に推進するため、令和4年3月に本計画を策定しました。

健康づくりのための食育を実践する市民を増やすため、市民、食育関係機関・団体等と連携・協働して、以下の計画内容に基づき食育活動に取り組んでいます。

○計画期間

令和4年度～8年度

○基本理念

豊かな心で「食」を楽しみ、より多くの市民が生涯を通じて健全な食生活を実践でき、健康で活力のある社会をめざす!

○基本目標

食育トライで広げよう!めっちゃ元気な市民の環(わ)

「食」を楽しむ



食への感謝の気持ちを深め、心豊かに食を楽しむ姿勢を育む

「食」を学ぶ



適切に選択し実践する力や、食文化を次世代に引き継ぐ力を育む

「食」でつなぐ



お互いに連携しながら支え合い、健康な食生活を送る力を育む

○重点的な取り組み:若い世代における食育の推進

20～30歳代の若い世代を対象とした生活習慣病予防につながる食習慣の普及啓発や、次世代を含めた食育の実践につながるよう取り組みます

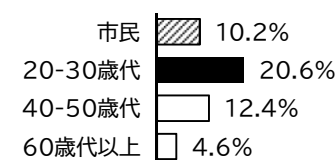
○考慮すべき事項:「新しい生活様式」に対応した食育の推進

新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、新しい生活様式に対応した取り組みを進めていきます

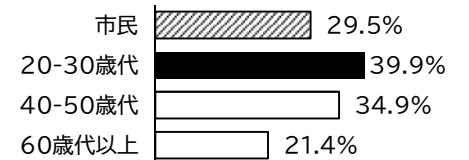
○市政世論調査から見える食の現状(抜粋)

20～30歳代の若い世代では他の世代と比べて、朝食や野菜、栄養バランスをそろえた食事など、生活習慣病等を予防するためのよい食習慣を実践している人の割合が低いという結果でした。

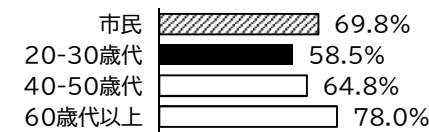
■朝食を欠食する市民の割合



■野菜を食べない市民の割合



■主食・主菜・副菜を組み合わせた食事を1日2回以上ほぼ毎日食べている市民の割合



○よい食習慣の実践のために～1日の始まりは朝食から～

朝食を食べることは、1)体の活性化 2)肥満防止 3)快便効果 4)脳の働きの向上、など子どもから大人まで多くのメリットがあります。今、朝食を食べていない人は、次の3ステップを参考に、少しずつ朝食を食べる習慣をつけましょう。

朝食を食べる習慣づくりのための3ステップ

- ステップ1. ヨーグルトや果物など、口にしやすい食材から食べ始める。
ステップ2. ごはんやパンなどエネルギー源となる主食を食べる。
ステップ3. 栄養バランスを意識して、主食・主菜・副菜をそろえていく。
ひじき煮などの常備菜や魚や大豆の缶詰、バナナ、ゆで卵など手軽なものを用意しておくこともおすすめです。

「早寝・早起き・朝ごはん」で健康長寿につながる生活習慣を身につけましょう!

計画の詳細や食育の取組は、東大阪市ウェブサイトに掲載しています。右のQRからアクセスできます。



←第4次東大阪市食育推進計画
栄養・食育情報→

